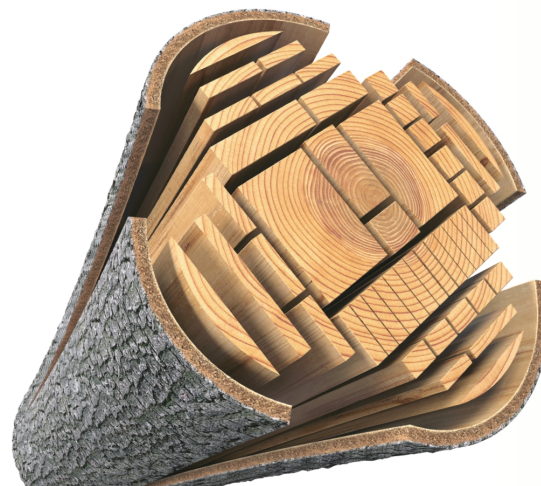


家族の想いがつまった家
FAMILY-HOUSE
〒804-0064 北九州市戸畑区沖台1-9-20
TEL:093-861-0075 FAX:093-861-0006
メールアドレス:contact@familyhouse-1978.jp



懐かしさが新しい。
葵

木を知り尽くした会社がつくる「和×モダン」

家への
想いと願い

手本にしたのは、
豊かで、じつは経済的な、
かつての家と暮らし方。



温故知新…。

〈葵〉がお手本にしたのは、つい100年ほど前までの家づくりです。年輪を重ね、逞しく育った木の命をありがたく頂戴し、太い柱や丈夫な梁を、匠の技で組み上げられた古民家。親から子、子から孫へと伝えられていくうちに、想い出が幾重にも積み重なり、家と暮らしへの愛着が深まっていく…。そんな豊かで、じつは経済的な暮らし方を現代に甦らせてみたい。こうして誕生したのが〈葵〉なのです。懐かしいけど新しい、そんな暮らしを実現するために、わたしたちに可能な限り、かつての家づくりに近い素材を集めてみました。



当社が販売する商品の一つ、
昇龍に由来する様々な自然素材から生まれた
人ややさいに寄り添った「環境のやさしさ」

千年の歴史が証明する信頼と安全性。
有害化学物質を全く使わない、「住む人」と「使う人」に
やさしい、こだわりの自然素材100%の建築材。



〈葵〉の経済性

手の届く「自然素材の家」を実現した、FAMILY-HOUSEの二つの取り組み。

いくら高い志を掲げても、現実離れした価格となれば届かないです。そこで〈葵〉では、大幅なコストダウンが図られました。その秘密は大きく分けて二つあります。その一つが「一括仕入れ体制」です。自然素材の家を志す仲間(全国に450社)を組織し、材料を一括して仕入れることで、木材の大幅なコストカットを実現しました。そして二つ目が「自社ブランド」の活用。協力会社素材部を組織し、これまで出なかった住宅資材を自社ブランドとして販売して頂きます。つまり自社で家を建てるお客様は、これらの住宅資材を、いかに卸価格で有利に仕入れたいかというわけです。日本の伝統的な家づくりでは当たり前のようにならされていた自然由来の住宅資材も、いまはすっかり馴染みものとなってきました。そんなかつての当たり前を、再びこの手に取り戻したい。それが〈葵〉に込められた、私たちの熱い願いなのです。



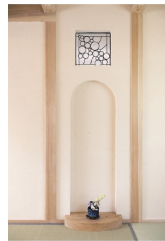
施工事例



出展直前の空間をお楽しみいただいたオーナーの要望に加え、柱や梁を茶色色仕立塗装、2階まで丁寧に埋め込まれた階段がデザインのアクセントになっています。



キッチンも無垢材で造作。統一感のある仕上がりになりました。水廻りの造作はFAMILY&HOUSEの得意分野の一つです。



現代風にアレンジされた浴の鏡。浴槽裏からランプまで、FAMILY HOUSEは持ち前のデザイン力で、様々な空間演出を実現します。



天竜特製の造作床の用材は二階建ての和室。涼しげな印象の襦袢が、空間を広々と見せてくれます。



LDKの主役は、100年の時を経た大黒柱。この柱を中心に、家族の様々な思い出が積み重なっていくことでしょう。



「お客様をお迎えする空間にはこだわりたい」そんなオーナーのご要望もカタチにした、広々とした玄関ホール。

「新築の頃より、10年経った今の家が好き！」
それは、オーナーから伺った最高にうれしい一言でした。

床や壁の色に深みが増すに従って、家族の想いもふえてくる…。
「実」で過ごす時間は、ただ過ぎ去るのではなく、重量にも折り重なり、降り積もっていきます。
あるオーナーは、自然素材のぬくもりに囲まれて子どもたちが成長するように、
またあるオーナーは、セカンドライフのステージとして、時がゆっくと過ぎていく、この家を選びました。
さて、その日常は？ すこしだけ、その様子ををご紹介します。



丸窓に格子の意匠がモダンな印象を与えます。こま回りでこだわりたいのは塗り壁の仕上げ。自然素材は職人の技があってこそ溢れます。



木の香りが清々しい浴室。汚れが付きやすい下の部分にはタイルを使用し、間接照明のやさしさを演出させました。



トイレ裏も木とタイルで造作。壁面に選られた天然ミネラル素材「ヘルシーカラー」が美しい吸着し、クリーンな環境を保ってくれます。



外は古民家、中は山小屋…というテーマに合わせ、床・壁・天井のすべてを天然木で仕上げました。その色合いは時とともに変化していきます。

